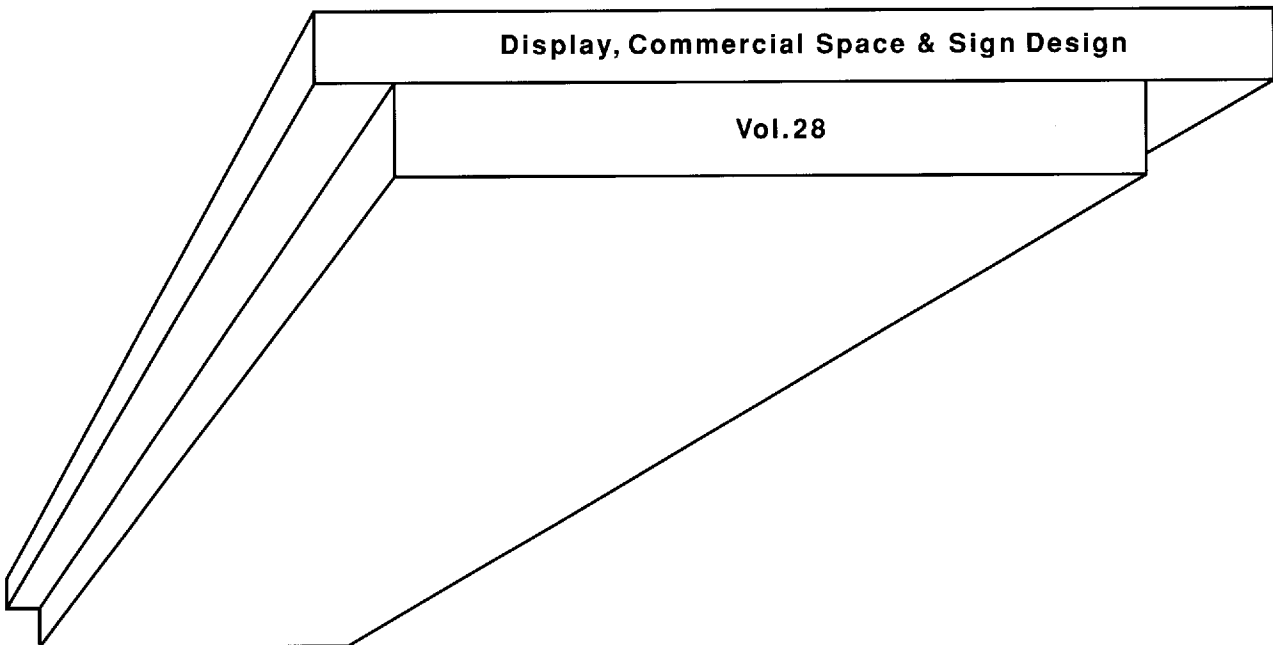




Display, Commercial Space & Sign Design

Vol.28

目次 Contents

Collaboration

Japan Display Design Association
Japanese Society of Commercial Space Designers
Nippon Display Federation
Japan Sign Design Association

Book Design : Higraph

Layout : Fumiko Matsushita

Publisher

Hosokawa Yasuo
Rikuyōsha Co.,Ltd.
Shizuoka Bank Bldg.,
19-12, Shinjuku 2-chome, Shinjuku-ku,
Tokyo. 160-0022 Japan
Phone : 81-3-3354-4020 Fax : 81-3-3352-3106
<http://www.rikuyosha.co.jp/>

©Copyright 2000 Rikuyosha Co.,Ltd.

Printed in Japan

ISBN4-89737-368-9 C3052

作品 : Works

エキシビション部門 Exhibitions	9
コミュニケーションスペース部門 Showrooms	75
ミュージアム部門 Museums	105
ショーウィンドウ&インストアディスプレイ部門 Show Windows & Instore Displays	123
ショップ、レストラン&サービス部門 Shops, Restaurants & Services	187
複合商業施設部門 Multi-Commercial Establishments	259
サイン部門 Signs	293
その他の部門 Others	363

審査評 : Selection & Criticism

ディスプレイデザイン賞 2000 Display Design Award 2000	395 388
ディスプレイ産業賞2000 Display Industry Award 2000	397 389
JCDデザイン賞 2000 Commercial Space Design Award 2000	398 390
第34回SDA賞 The 34th Sign Design Award	400 392

ディスプレイデザイン大賞 [朝日新聞社賞]

竹中大工道具館 開館15周年企画展 “ヒトと手道具” 1-7

ディスプレイデザイン優秀賞

川崎市岡本太郎美術館 176-178
 ジェイアールセントラルタワーズ・タワーズプラザ 428-438
 資生堂グローバルカンファレンス2000 “ZEN” スペース 20-22
 資生堂ザ・ギンザ “四季、千年。III” 235-236
 東武百貨店池袋店 “Tobu '99 フューチャーミックス” 275-276
 第33回東京モーターショー “トヨタブース” 45-47
 とらや “2000枚目のお正月” 254-255
 1999年度 松下電器パナソニックブランド展示会年間計画 109-113
 ミキモト銀座本店100年 “100 Years Ago・発明” 225-227
 ルイ・ヴィトン “モビール” 216-218
 World PC Expo 99 “ソニー / ソニーマーケティングブース” 82-83
 和光 “龍の年” 207-208

ディスプレイデザイン奨励賞

e コマースフロア ネットワークスタイル 132-133
 エコールド ハヤマ (資生堂湘南研修所) “心のカタチ” 242-243
 大阪城カウントダウンフェスティバル “光と音の通りゃんせ” 704-710
 キオラ / プレゼンテーションスペース 156-158
 50+5 “空爆の墓標” 安藤日出彦個展 (ゲルニカからコンボ) 12-14
 資生堂 “ウインドウディスプレイ2000年 New Year” 650-653
 資生堂パッケージデザインセレクション展 23-24
 フィッシュ オン チップス 373-374
 ポストカードインスタレーション “ポストカード、青” 665

ディスプレイデザイン特別賞

乗→歩→感→ -第三回 “よみがえる樹々のいのち” 展-/ 暖氷
 -Winter Present- 673-678
 博多井筒屋 “めっせーじすたじお” 314-316
 “私のライフスタイル” idd学生作品 271-272

ディスプレイ産業大賞

ジェイアールセントラルタワーズ・タワーズプラザ 428-438

ディスプレイ産業優秀賞

川崎市岡本太郎美術館 176-178
 1999年度 松下電器パナソニックブランド展示会年間計画 109-113
 ミキモト銀座本店100年 “100 Years Ago・発明” 225-227

ディスプレイ産業特別賞 [日本経済新聞社賞]

e コマースフロア ネットワークスタイル 132-133

ディスプレイ産業奨励賞 [社団法人日本ディスプレイ業団体連合会賞]

池田満寿夫 “般若心経の世界” 土と炎の造形 10-11
 EDEX 2000 “NEC ブース” 114-115
 国際デザイン展 '99 126
 国立民族学博物館 特別展 “越境する民族文化” 8-9
 セントラルパーク “フレッシュヤーズ” 260-261
 第33回東京モーターショー “三菱自動車ブース” 48-49
 第33回東京モーターショー “日産ブース” 52-53
 NEAR21 デザイン展 27-28
 NetWorld+Interop 99 Tokyo “NTT グループブース” 65
 私のスタイル オードリー・ヘプバーン展 16-17

JCDデザイン大賞

橋本工務点 347-354

JCDデザイン シモ・ヘックラ賞

2つの仮設空間 / 黒田泰蔵・花岡隆 31-34

JCDデザイン特別賞

潜在する音の海 “Wave³” “Umi-Tsukushi” 666-672

JCDデザイン優秀賞

アフロート 407-410
 海椿葉山 468-473
 橙家daidaiya 阪急東通り 375-376
 谷上のビル 480-482
 ティーズ原宿 439-441

JCDデザイン奨励賞

AQUA WORKS	159-160
LDK 本社ビル	161-162
勝山町保健福祉センター	474-476
Café 鈴木	357-358
QFRONT	445-446
クレイトンベイホテル クリスタルチャーチ	
departure for the heaven	461-462
さいたま新都心駅	486-488
サイバーパーク	130-131
四喜眼鏡 新百合丘ビブレ店	319-320
朱クリニック	405-406
世界淡水魚園 オアシスパーク	456-460
世田谷自動車学校	477-479
千石船のとも絵寿し	360-361
チックタック	317-318
チャイニーズダイニング ファンファン	377-378
ナニワ メディア プラネッツ	328
291295 = オム	332-334
nous voyage	355-356
PX銚田店	576-578
P・PARK 2	420-422
ヒロコ コシノ オム	335-336
福井県児童科学館	203-206
藤乃家	465-467
positive eating cha cha	388-391
ボルシェセンター世田谷	145-146
三輪運輸工業本社ビル	167-169
モザイクモール港北・都筑阪急	442-444
limpid	483-485
Roofecture 姫路	164-166

サインデザイン大賞「通商産業大臣賞」

広島電鉄「グリーンムーバー」	
カラーリングデザイン&デビュー計画	489-496

SDA特別賞「財団法人日本産業デザイン振興会会長賞」

富山県「木彫りの里 井波町」の高度な職人技術の伝承に対して	658-661
福岡地所のデザイン戦略	662-664

サインデザイン優秀賞

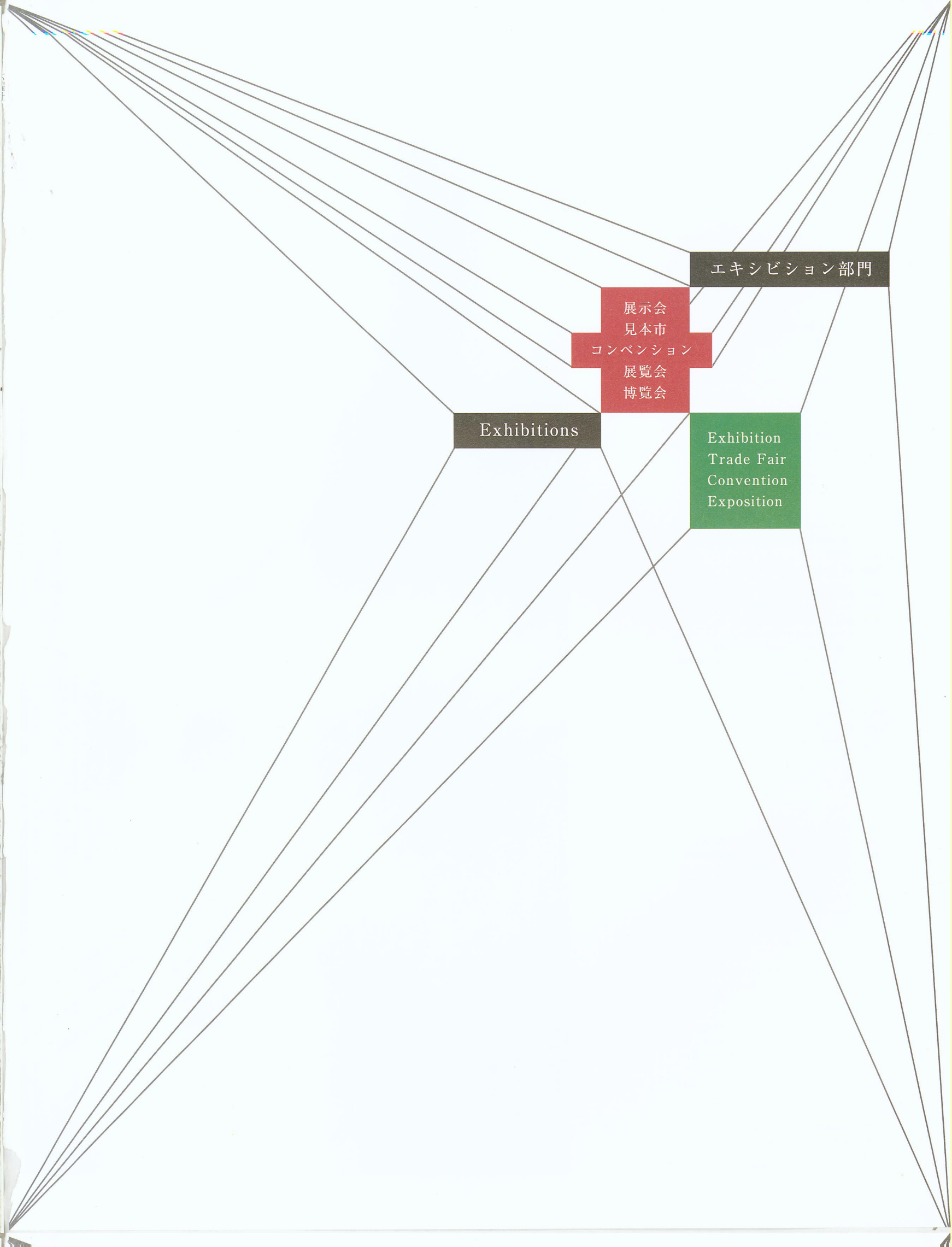
アーテック幕張ロジスティクス	623-625
資生堂「ウインドウディスプレイ2000年 New Year」	650-653
ティーズ原宿	439-441
東京国立博物館 法隆寺宝物館	536-543
東京電力福島第二原子力発電所 建屋内（管理区域）	
環境表示計画	619-622
原宿Yビル 工事現場仮囲い	558-559
PX銚田店	576-578
メディアージュバブリックサイン計画	643-645

サインデザイン準優秀賞

NEC玉川ルネッサンスシティ(1)	579-581
オクト・カフェ	497-500
銀座ポケットパーク 工事現場仮囲い	562-563
公立はこだて未来大学	544-545
札幌メディアパーク スピカ	605-607
DREAM TREE 2000	628-629

サインデザイン奨励賞

A-Coop前原駅南 商品サイン計画	639-642
NTTドコモ埼玉ビル（仮称）仮囲いサインプロジェクト	560-561
暗越奈良街道顕彰サイン	501-502
国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」会場サイン計画	656-657
さいたま新都心 まちのサイン	512-515
渋谷マークシティサイン計画	594-595
多摩モノレールトータルデザイン計画	518-520
ビッグハート出雲	549-551
MOVIX倉敷	585-586



I-7

竹中木工道具館 開館15周年企画展
“ヒトと手道具”

展示場所：神戸

展示期間：1999年10月～12月

統括管理：渡辺正樹

アートディレクション：戸口 淳

映像マルチイメージ：豊田幸孝

展示企画：長谷川辰也、松永武士

プロデュース：トータルメディア開発研究所 熊谷 孝

プロダクション：トータルメディア開発研究所

クライアント：竹中木工道具館

図面：シー・エフ・エス 水波清和、佐古好史

Takenaka Carpentry Tools Museum
The Fifteenth Anniversary of Special
Exhibition
“Human beings and Tools”

place : Kobe

date : from Oct. to Dec. 1999

supervision : Watanabe Masaki

art direction : Toguchi Atsushi

multi image show : Toyoda Yukitaka

plan : Hasegawa Tatsuya, Matsunaga Takeshi

producer : Totalmedia Development Institute -

Kumagai Takashi

production : Totalmedia Development Institute

client : Takenaka Carpentry Tools Museum

drawing : C&FS - Mizunami Kiyokazu,

Sako Yoshifumi

デザイン意図

画像のひとこまひとこまが、多面体空間に投影された時、枠からフレームアウトした被写体は重なり、連続したつながりをもつ立体となる。映し出された虚像、道具の実像、そして観る者の存在は、それぞれの領域をフレームアウトしながら融和し、流れゆく時間と刻々と姿を変えていく事象に包み込まれ、共鳴する。

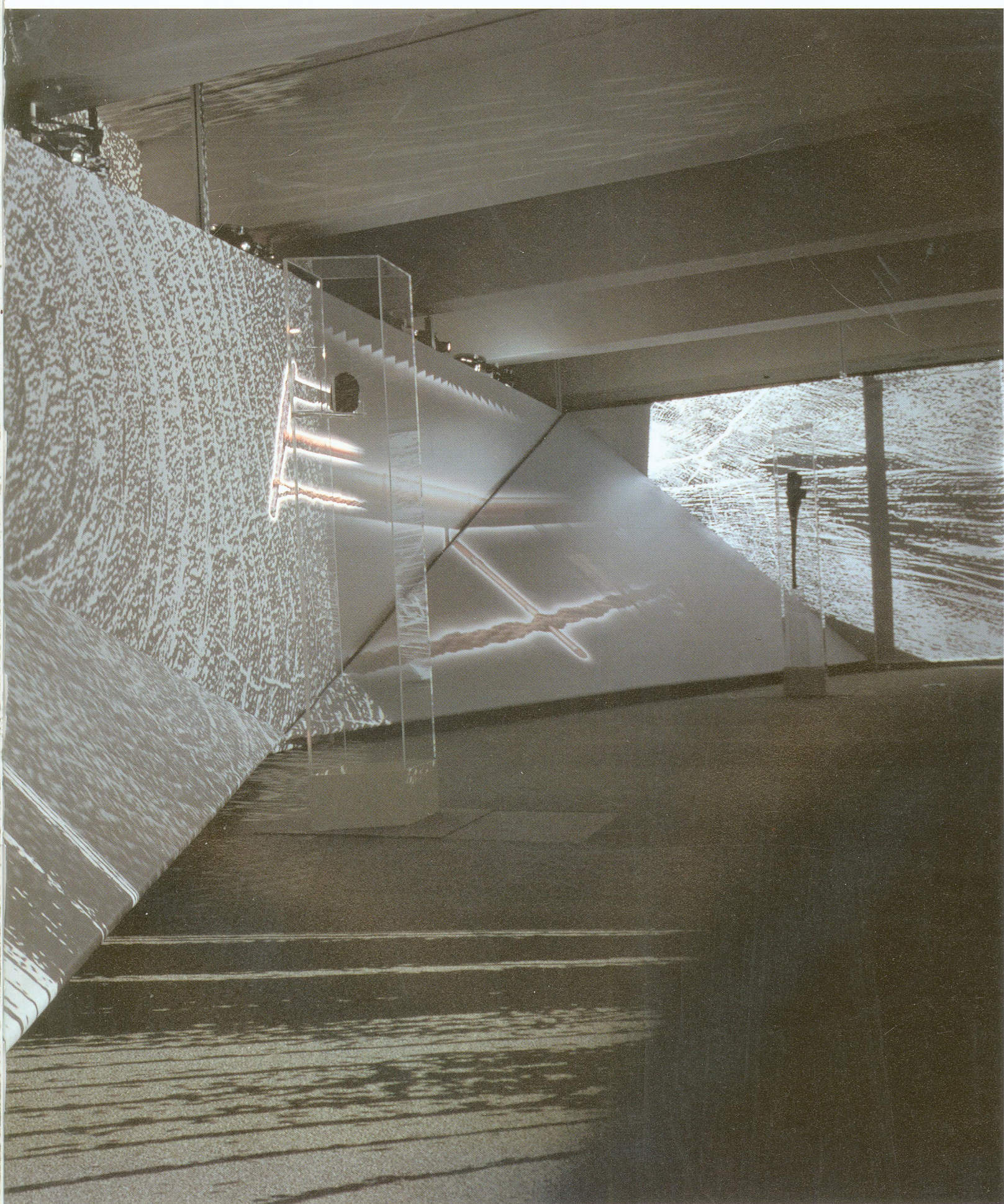
*

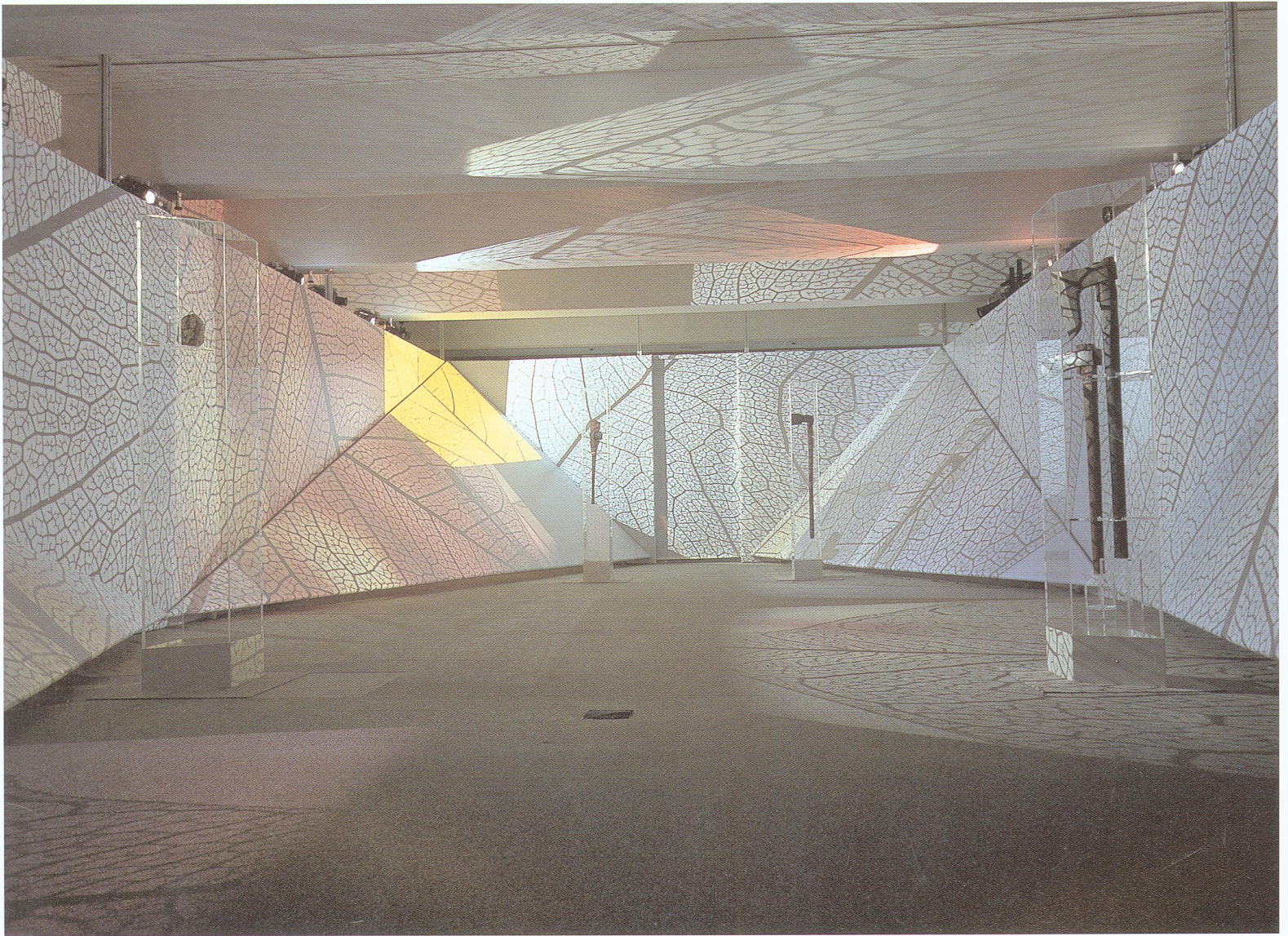
選評

展示手法としては、今ではオーソドックスともいえるマルチスライド映像による演出だが、空間全体をすべて垂直と傾斜したスクリーンで覆い、映像に徹したダイナミックな構成としてまとめあげたことが評価された。木造建築として世界最高レベルの技術をささえたかつての道具と技術を、後世に伝える資料館として、15年前に開館した時にも、このような企画を実現させた竹中工務店の見識は称賛されたが、近年特に凋落著しい建設業界、ゼネコンの中で、直接収益につながらないこうした施設を持続する企業の独自性、見識、そして手堅い経営姿勢などを今回の作品を通して審査する我々は感じとったことも評価につながったはずである。

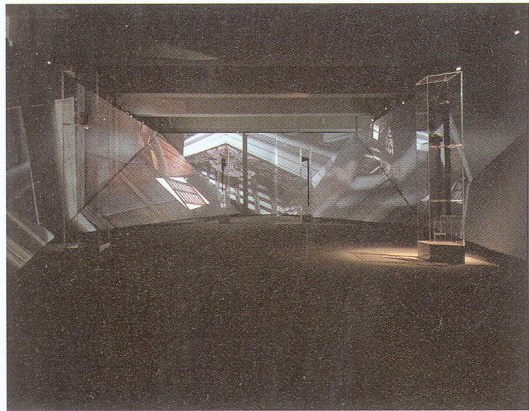
(ディスプレイデザイン賞審査委員長 高見 慧)



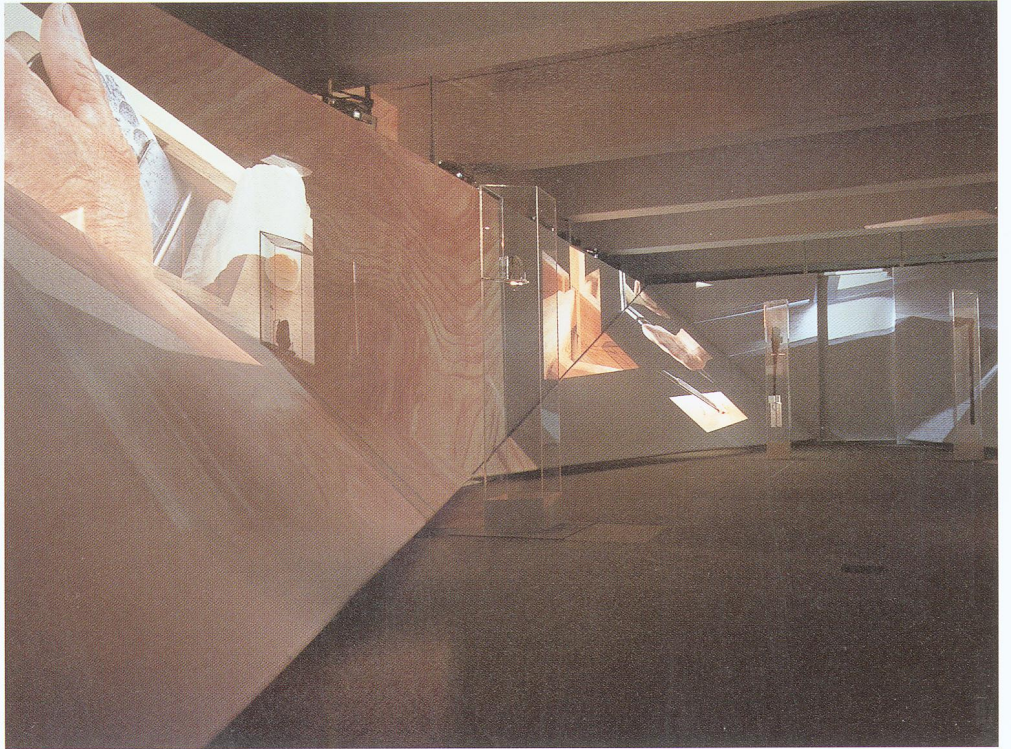




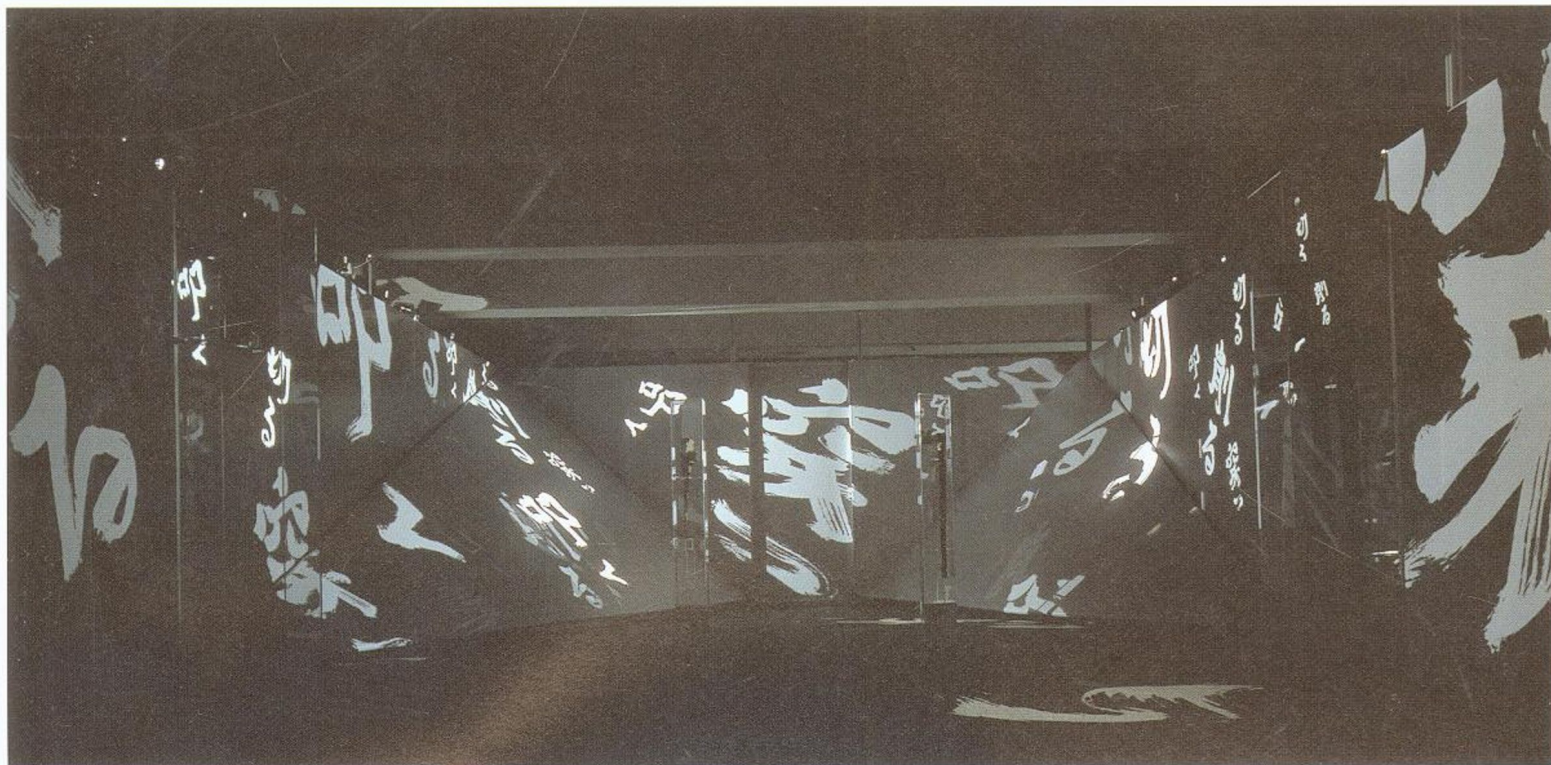
2



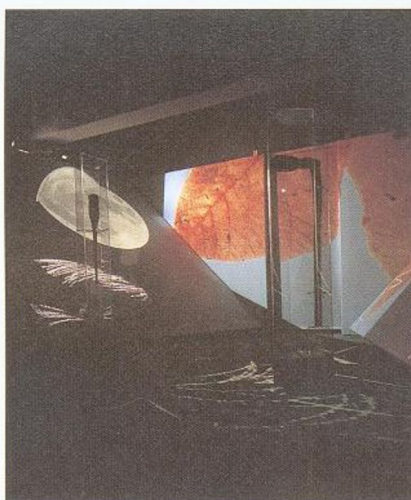
3



4



5



6

title
「ヒトと手道具」

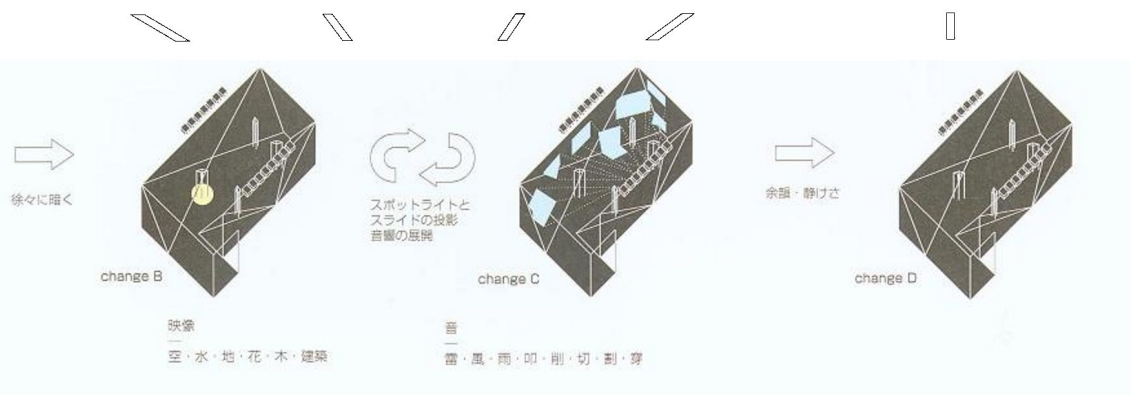
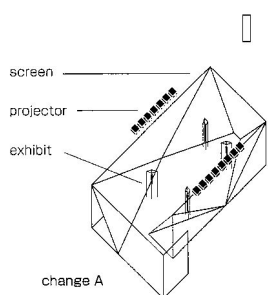


静かな音楽がながれる中、4つの道具の時代を象徴する標本資料だけがスポットを浴びて浮かび上がる。やがて光と音は隠られ、暗黒の空間へと転じる。

木をうつ道具の強烈な打音と毛筆によるテーマ文字、そして「手」が次々とマルチスライド投影により表われ空間全体を埋め尽くしていく。4つの道具の時代は、それぞれが映像のシーン構成となる。各シーンの冒頭ごとに時代の名称が映し出され、同時にその時代を象徴する標本資料だけがスポットで照らされる。

木を中心にした自然のイメージ、大工道具、人の手、材の加工、職人の手仕事による建築などの映像。そしてそれらの発する音。観覧者自らをこれらのメッセージが次々と包みこみながらシーンは展開していく。

四季の自然模様がゆっくりと空間を巡り、余韻を残しながら再び空間は暗転し、やがて静かに空間は明けていく。



7

8-9

国立民族学博物館 特別展“越境する民族文化”

展示場所：大阪・吹田

展示期間：1999年9月～2000年1月

統括管理：渡辺正樹

アートディレクション：戸口 淳

コンピュータグラフィック：門川直史

ディスプレイコーディネーション：唐口一之

プロデュース：トータルメディア開発研究所 熊谷 孝

設計プロダクション：トータルメディア開発研究所

製作プロダクション：日展

クライアント：国立民族学博物館

National Museum of Ethnology
Special Exhibition
“Ethnic Cultures Crossing Borders”

place : Suita, Osaka

date : from Sep. 1999 to Jan. 2000

supervision : Watanabe Masaki

art direction : Toguchi Atsushi

CG : Kadokawa Naofumi

display coordination : Karaguchi Kazuyuki

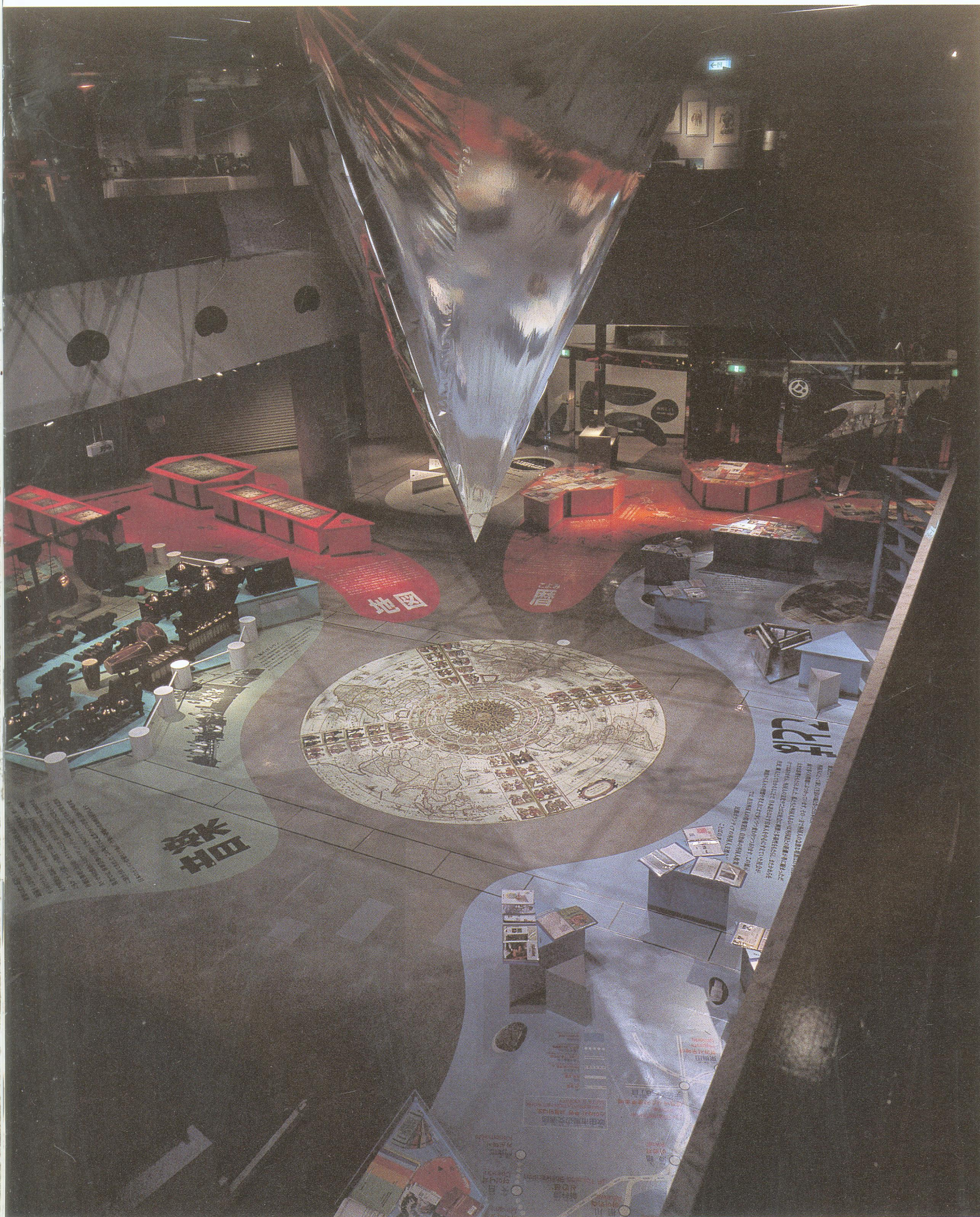
producer : Totalmedia Development Institute -
Kumagai Takashi

design production : Totalmedia Development
Institute

production : Nitten

client : National Museum of Ethnology









11



ディスプレイ産業奨励賞
(社団法人日本ディスプレイ業団体連合会賞)
Display Industry Encouragement Award

10-11

池田満寿夫 “般若心経の世界”
土と炎の造形

展示場所：三重・四日市
展示期間：2000年1月～2月
企画、プロデュース：四日市市立博物館
ディレクション、デザイン：丸山康宏
プロダクトマネージメント：木村賢二、益川玖美子
プロダクション：中部広研
クライアント：四日市市立博物館
撮影：滝川和也

The Art Works of MASUO IKEDA
HANNYA SHINGYO
“Tsuchi to Honoo no Zokei”

place : Yokkaichi, Mie
date : from Jan. to Feb. 2000
plan & producer : Yokkaichi Municipal Museum
direction & design : Maruyama Yasuhiro
product management : Kimura Kenji,
Masukawa Kumiko
production : Chubukoken
client : Yokkaichi Municipal Museum
photograph : Takigawa Kazuya